



社会福祉法人 吉備路の会

# 吉備路学園

第42号

平成26年5月31日 発行

発行  
社会福祉法人 吉備路の会  
吉備路学園  
〒719-1155  
岡山県総社市小寺1553番1  
TEL (0866) 92-6580  
<http://kibijigakuen.ecgo.jp>



「関わりを大切に生きる」  
統括施設長 小原 章弘

すべてが関わり合いのなかで生かされているということ、すなわち世界のすべての人は、単独では存在できないし、互いの関わりの中こそ、生きることが出来ます。自分の意志とは関係なく、否応なしにそうになっているものですから、他の存在との関わりの中に「生きている」とは言わず、「生かされている」と受け身形で言うのが普通です。

それでは、すべてが関わりあっているのなら、自分と他人はどのように考え、行動したらよいのでしょうか。いや「他人」というと人間だけのことになり、動物たちや山川草木なども含めた形で、「他者」ということにしましょう。つまり、私という自分は、どうすれば他者との関わりを大切に生きていけるのでしょうか。

仏教では、わが身がわが身、という人間の本性をまず認め、その上で、私にとって自分が愛しいのなら、他人にとってもその自分は愛しいのだから、自分の欲望のために他人を傷つけてはならない。「わが身に引き当てる」、他人を大切にすべきである、と教えられているのです。これは、私の自己と他人の自己が慈悲、思いやり、の中で一つに連なっています。自己と他者との関係は、「自分も立ち、他者も立つ。他者を立たせることによって、自分も立たせてもらう」という考えでございませう。

私たちは他人や動物、自然と関わり、その関わりの中に生かされています。そなたとするなら、私たちはその関わりを大切に、他者をわが身に引き当てる生き方ではないでしょうか。それが正しい生き方です。自分も他者も同時に幸いに、共に生きていく道なのではないでしょうか。

他人が苦しんでいるなら、その苦しみをわが心の痛みとして受け止め、改善していくという気持ちで、いつも忘れずに、また大切にしたいものです。

吉備路学園 自治会活動



出発進行!



6月 障害者スポーツ大会  
輝いてキラリンピック



9月 親子旅行  
海遊館



10月 交流祭



8月 余暇活動  
花火



10月 親子旅行  
兵庫県立 フラワーセンター



12月 クリスマス会





## 加工1グループ 一年間を振り返って

支援員 大月 和樹

加工1グループは利用者十八名で軍手の作業を行いました。今年度はグループの職員が入れ替わり、新しい職員と共にスタートしました。軍手作業は各利用者の能力に応じて型をはめ、糸切り、結束、袋詰め、工程に役割分担し、流れ作業でスムーズに行えたと思います。月に二回ほど、袋詰めを終えた軍手を納品する際には、利用者の方が積極的に軍手の入った重いダンボールを運んでくれました。その姿を見ると職場で働く職人を感じさせてくれます。

私は四月から入社したばかりで、作業について不安を感じてしまいましたが、しかし、先輩職員から作業について教わり、作業を通じて利用者の方と関わりが増え、関係を深めながら楽しく作業の支援を行うことが出来るようになりました。

## 加工2グループ 一年間を振り返って

支援員 前田 一俊

加工2グループは、ウエス作業を中心に日中活動を行ってきました。作業を行うにあたって、ウエスの乾燥機・ウエスの仕分け・袋詰め・箱詰めなどの工程を皆で手分けをしながら行う事で、効率よく作業を行う事が出来ました。また加工2グループで外出をした際には、釣り堀

で魚釣りをしてバーベキューをしたり、バイキングで普段は食べられない料理を食べに行ったりと楽しく時間を過ごす事が出来ています。加工2グループの利用者の方は、グループホームや他グループへの移行によりメンバーが減ってしまいましたが、四月からも楽しく充実した日々を過ごせたと思います。



## 家政グループ

### 一年を振り返って

支援員 小野 祐喜子

一年を通じて皆が元気に過ごせた事に感謝しています。若い利用者さんは、手芸品の作業を始め、いろいろな体験を通して、協調性やマナーを習得するなど一人一人の成長が窺えました。又、高齢の利用者さんは、ゆったりと楽しく、そして健康を維持出来るよう、日々の作業やレクレーションを中心に過ごしました。年々進む高齢化によって、様々な面でのサポートが必要になってきています。今後も一人一人が吉備路学園で楽しく生き生きと過ごせるよう寄り添っていききたいと思います。



## グループホームの 一年を振り返って

管理者 村上 雅昭

グループホーム井手では、昨年九月にグループホーム井手Ⅲ(女性二名)と井手Ⅳ(男性二名)の二ヶ所で合計四名の増員を行いました。定員も十一名となりました。昨年は、定員が増えた事でそれぞれホーム間の交流を図る機会が多くなり、余暇活動も入居者主体の非常に活発な活動を行うことが出来るようになってきました。また、地域で行われているサロン活動に積極的に参加する事で、地域の方とふれあう機会や、他の障がいのある方との関わりも増え、充実した地域生活が送れるようになってきました。同時に私達もサロン活動を通じて地域の中にグループホームの利用希望の方が非常に多くおられることを実感することができました。現在、総社市では地域生活の場が非常に少ないのが現状です。地域の障がいのある方の住まいの場を確保すべく、今後も努力していききたいと思います。

## 栄養バランスのコツは 一汁三菜

管理栄養士 水谷 絵理

フランスのとれた食事って難しいですよ。和食の基本である「一汁三菜」はフランス良く栄養が摂れる、日本人の知恵です。①主食(ごはん

## 生活グループ 一年を振り返って

支援員 岡田 一也

以前は、加工1グループで軍手作業の支援をしていましたが、生活グループに所属になり、あつとゆう間の二年が過ぎていきました。生活グループは、利用者九名で本人の体調と健康状態をみて毎日日課に参加してもらいました。散歩・軍手の型はめ・ビーズ通し・創作活動・廊下のモップがけ・す板自室の掃除・ドライプ、曜日を何をするかを決めて職員が準備をし、皆さんに参加を促しながら、楽しく過ごしていききました。丁寧に掃除をされる方、几帳面にシールを貼ったり、小さなビーズなどを通す方、毎日近くにある北公園に散歩に出かける方、みんなそれぞれ長所をもっておられ活動されていました。食べる事が好きで、一日外出の昼食で回転寿司を食べに行き、皆さん美味しそうにたくさん食べていたのが、とても印象に残っています。

一年間を通して、大きな怪我や病気もなく、健康で過ごしていました。これからも毎日、元気で健康に過ごせるように様子観察し、日々支援していききたいと思います。

## 多機能型事業所 みぞくち

管理者 延原 良純

平成二十五年度は、みぞくちの活動にも大きな変化がありました。一つは事業所内の厨房で調理した昼食の提供を始めたことです。栄養管理され、個々人に合った内容の食事が

や麺などがエネルギー源に)②主菜(肉・魚介・豆が身体をつくる)③副菜(野菜を中心にビタミン・ミネラルを補う)④汁(カルシウムや鉄を補う)学園では一汁三菜を基本に献立が組まれ、利用者の方の健康をサポートしています。ご家庭でも献立に困ったときは一汁三菜にあてはめてみると栄養のバランスがとりやすくなりますよ。ぜひお試しください☆

## 昨年を振り返って

看護師 浅沼 静子

寒い冬がやっと終わり、遅い春が来た。毎年冬に流行するインフルエンザと嘔吐・下痢症は猛威をふるう事はなかった。入所者の発症がなかったのが一番だったが「学園に菌を入れない」という意識が保護者・職員に定着してきたと思われる。

服薬状況は、てんかん・安定剤が三十三名、血圧三三、糖尿病五名、脂質異常五名、尿酸異常二名、毎年一〇二名は服薬者が増えている。

受信状況は、歯科が最も多く虫歯よりも歯槽膿漏、義歯関係が増えている。精神科、内科、外科、眼科と続く。

病気の早期発見にと思い、歯科検診・内科検診・ガン検診(胃・大腸・子宮・乳・前立腺)、高齢者の骨密度、眼科検診もしている。

今後の課題は、高齢化と重度化のだと感じる。

## 新任・退職のおしらせ

### 《新任職員紹介》

平成二十四年十月一日付  
事務員 御厨 淳子

平成二十五年度四月一日付  
支援員 前田 一俊  
支援員 大月 和樹  
支援員補助 大月 広美

平成二十五年度五月七日付  
支援員 六名 婦美子

平成二十五年度六月一日付  
支援員補助 森内 美江

平成二十五年度八月一日付  
支援員 廣木 聡

平成二十五年度十月一日付  
世話人 大西 信子

平成二十五年度十月二十三日付  
支援員補助 石原 洋子

平成二十五年度十二月一日付  
看護師 森岡 敦子  
事務員 立花 芳美

平成二十六年度二月一日付  
支援員 牧野 隆久

平成二十六年度二月二十日付  
支援員 須増 喬

平成二十六年度四月一日付  
支援員 佐藤 雅美  
支援員 林 哲郎

平成二十五年度五月三十一日付  
支援員 服部 正次

平成二十五年度六月三十日付  
支援員 藤原 裕子

平成二十五年度十二月十五日付  
支援員 本田 孝幸

平成二十六年三月三十一日付  
支援員 岡田 真美  
支援員 山下 綾佳

平成二十六年四月一日付  
《敬称略 順不同》

平成二十四年四月一日  
平成二十六年四月三十日

《寄付》  
山内大吉 吉備路の会後援会  
吉備路学園家族会 薬師寺主明  
秋田皓二 総社市総社地区社会福祉協議会 総社市北地区愛育委員会  
《有山本手袋 森昭一郎 総社市手をつなぐ育成会 さかえ内科外科クリニック 平川貞一 土井脇典子  
白神和夫 窪ピアノ調律所 総社市阿曾地区社会福祉協会 まるみ菰本店  
《株誠屋 春日青葉家家族会  
《有さかなや本舗 山陽フードサービス 樋口芳泉園茶舗 横溝青果  
中央良糧(株) 川村哲治 (有)中村屋フーズ 山陽新聞社会事業団  
《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

## 寄付・寄贈・ボランティア協力

平成二十四年度  
平成二十六年四月三十日

《敬称略 順不同》

《寄付》  
山内大吉 吉備路の会後援会  
吉備路学園家族会 薬師寺主明  
秋田皓二 総社市総社地区社会福祉協議会 総社市北地区愛育委員会  
《有山本手袋 森昭一郎 総社市手をつなぐ育成会 さかえ内科外科クリニック 平川貞一 土井脇典子  
白神和夫 窪ピアノ調律所 総社市阿曾地区社会福祉協会 まるみ菰本店  
《株誠屋 春日青葉家家族会  
《有さかなや本舗 山陽フードサービス 樋口芳泉園茶舗 横溝青果  
中央良糧(株) 川村哲治 (有)中村屋フーズ 山陽新聞社会事業団  
《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

《寄贈》  
川西正樹 白神隆義 松本泉  
林美幸 横山武 三上範生  
横田さち子 松浦郁夫 横田一夫  
鈴木雄進 岩佐昭吾 渡辺博之  
藤田義男 三宅久仁江 三宅佐智子  
《ボランティア》  
ヘアユニットリーラ 白神和夫

## 編集後記

久しぶりの発行となりましたが、新年度がスタートしました。前年度から多くの新しい職員を迎え入れ、毎日楽しく過ごさせていただいています。この春も気温の温度差があり体調を崩される方が多かったですが、五月に入り初夏を感じさせるほど陽気もよくなり、また、本年度も職員皆を引き締めて支援に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

## みぞくちの手作りおもち

みぞぐちでは、おもちを製造しております。ご注文承っておりますので、ぜひご利用下さい！また、みぞぐちの調理師が考えた簡単なレシピも紹介しております。興味があれば、ぜひどうぞ！

- 丸もち (6 個入り)
- スライスもち (15 枚入り)
- スライスもち (3色各しろ・ゆず・こま 5 枚入り)
- 豆もち (350g 入り) 他 新商品もあります

《お問い合わせ》

多機能型事業所 みぞくち

TEL 0866-94-3131 TEL 0866-94-3132

E-mail:kibijinokai@waltz.ocn.ne.jp